

らしい

あなたらしく
生きられる
社会を目指して

ゆう〜

LIKE YOU

ちよどい!
さくら市
SAKURA CITY



受講者の気づき・感想

- ・DVについての見方、考え方が変わった。
- ・より深く学んでみたいので、引き続きDVに関する講座を開催してほしい。
- ・DV被害者に対する支援について学ぶことが多く、90分の講座では短いと感じた。
- ・私たちが気付いていないだけで、市内でDVに悩んでいる家庭が多く存在していることを知った。
- ・どんな支援者と出会えるかがDV被害者にとって重要になると感じた。
- ・DV被害で困っている人に気付けるように、また困っている人が話しかけやすいような雰囲気づくりに気を配っていきたい。



参加した委員の声



DV被害者が専門の相談機関に辿り着くには、いくつものハードルがあります。恥ずかしく思ってしまった、自分さえ我慢すればと考えたり、何よりも一番の要因は加害者の支配から逃れられないことだと思います。自分ではDVをされていると気づいていないケースもあるらしいです。

私が勤める児童館で、子育てのこと、家庭のこと、夫に対する愚痴など、母親から様々な相談を受けることがあります。中には、おや？と思うこともあります。自分から手を伸ばせないのなら、周りが気付いてあげられるように、DVに関する理解を深めていくことが必要だと感じました。

上野幸子 委員

編集後記

今年度の活動を通して、DVについて多くのことを学ぶことができました。DVとは「夫婦や内縁関係など親密な関係にある / あった者から継続して振るわれる暴力」を指します。講演会では、実際に相談に携わっている方の話を聞くことができました。多くの被害者が誰にも相談していないこと、専門の窓口で相談しているのは0.3~4.8%しかいないこと、自分の受けている行為がDVだと認識していないケースがあることなどが明らかになりました。

DVは目に見えにくい問題です。さくら市にも、声を上げられない人が多数いると思います。一人で悩まずに、一歩前に踏み出す勇気を持っていただきたいと思います。そして、受け入れてくれる窓口はたくさんあるということ、皆さんに知っていただきたいと思いました。

大森陽子 委員

さくら市 男女共同参画推進委員募集中

私たちと一緒に市の男女共同参画に向けた活動をおこなってみませんか？イベントの企画や情報紙の発行など、誰もが住みやすく明るいさくら市を目指して楽しみながら活動していきましょう！老若男女・国籍も問いません。ぜひ、あなたの力を活かしてください！

問 総合政策課 ☎681-1113

◆編集：さくら市男女共同参画推進委員会 ◆発行：さくら市総合政策部総合政策課
〒329-1392 さくら市氏家2771番地

TEL: 028-681-1113 FAX: 028-682-0360 E-mail: sogoseisaku@city.tochigi-sakura.lg.jp

今年度は「配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶」をテーマに活動しました。

DVに関するオンライン講演会を受講して理解を深め、DV防止対策講座を主催し、市民の方々にDVの実情と支援の重要性について紹介することができました。

女性への暴力を考える講演



令和7年11月18日(火)に栃木県とちぎ男女共同参画センター主催の「令和7年度 女性への暴力を考える講演会 自分はDV加害者!?～加害者更生プログラムから見えること～」をオンラインで受講しました。

講師の一般社団法人エフエフピー 中川 拓氏・亜衣子氏から、DV加害者への働きかけを通じた暴力の再発を防ぐ取り組みについて、お話を聞くことができました。



参加した委員の声



DVの加害者プログラムの存在を知ったことは、大変有意義でした。また、加害者にも過去に被害者としての経験があるのではないかと考えさせられ、複雑な気持ちが残りました。

加害者プログラムは、加害者の心理的要因に着目し、更生と再発防止を目指すものだとして理解しました。DVの解決には、加害者への支援と被害者への支援の両面から取り組むことが重要なのだと感じました。

渡邊能辰 委員

DVは緊張期、爆発期、ハネムーン期を繰り返し、このハネムーン期で被害者は被害者である自覚を失い、またサイクルに飲み込まれてしまいます。加害者を変えることは難しいため、とにかく距離を置き自己回復に注力するというのが一般的な対応だと思います。しかし、今回の内容は、加害者側に働きかけて、自らの行為の要因や背景に気づかせて暴力をしないように導いていくというものでした。

一人の被害者から切り離された加害者は、またどこかで暴力をふるうことでしょう。そのサイクルを断ち切る救いの手があることを今回の講座で知ることができました。

上野幸子 委員

講演では、今年度の当委員会の主要テーマである「DV」について、中川ご夫妻から被害者・加害者の視点からのお話を聞くことができました。加害者自身が自らの行動を認識し、改善できる可能性があること、そしてそのための加害者更生プログラムなどの取り組みが存在し、暴力の再発防止に繋げる取り組みが進められている現状が紹介されました。私自身、講演を聞く中で、夫婦間で無自覚に相手の心を傷つけてしまった経験があったかもしれないと改めて反省する機会となりました。

大橋克世 委員

DV防止対策講座

令和8年2月17日(火)に氏家公民館にてDV防止対策講座を主催しました。

「DV被害者の理解と対応～すべての人が安心・安全に暮らせる社会のために～」をテーマに、講師としてウイメンズハウスとちぎ 藤平 裕子氏をお招きし、DVの現状と実態、被害者と子どもへの影響、私たちにできる事などについて講演いただきました。



受講者アンケートでは、「もっとDVについて知りたい!」「とても分かりやすく学ぶことができた」等の感想を多数いただきました!

中村市長も受講され、「被害者支援に関する行政サービスの展開を考えていきたい」とのコメントがありました。